

令和元年

第4回（12月）波佐見町議会定例会

町政に対する一般質問

波佐見町議会

通告順位	1	通 告 者	2 番 城 後 光 議 員
質 問 事 項 及 び 要 旨			<p>1. 歴史ある街並みを活かした景観づくりへの支援について</p> <p>土地区画整理事業が行われている西ノ原地区のまちづくりに関し、関係者が集まって「波佐見講堂・まちづくり協議会」が設立された。同協議会から11月22日に県道1号線の整備計画に対する要望書が町長へ提出された。協議会では、西ノ原地域の民間住宅についても、重要文化財に配慮した景観を維持するよう、住宅建設を予定している住民に対する紳士協定案を整備し、昭和の街並みを維持する取り組みが行われている。</p> <p>(1) 古い街並みが残る宿郷、西ノ原等の地域において景観を維持する支援ができないか。</p> <p>(2) 歴史的景観が維持されている地域については、奇抜な建物・看板等の制限を指導できないか。</p> <p>2. 幼児教育・保育の無償化に伴う影響について</p> <p>10月より、幼児教育及び保育の無償化制度がスタートした。制度対象者の負担は軽減されたが、費用が完全には無償化されないケースもあり、施設担当者の事務作業は増加している。</p> <p>(1) 無償化の開始に伴い、各施設からの反応はどうか。</p> <p>(2) 来年度以降、入所者数の変化など、どのような影響が考えられるか。</p> <p>(3) 職員の事務負荷軽減のために、事務処理の共同外部委託など支援はできないか。</p> <p>3. 保育環境の改善に向けた取り組みについて</p> <p>幼児教育・保育に対する保護者の期待は増す一方、職員の待遇は十分とはいづらい。認定こども園、保育園ともに職員数は限られる中で、子ども達の安全と保護者の安心を確保するためにも、事務作業の効率化及び職員処遇の改善をさらに進める必要がある。</p> <p>(1) 現在のこども園・保育園の児童数及び職員数は、法定基準と比較してどうか。</p> <p>(2) こども園・保育園、それぞれの職員処遇は。(平均年齢・年収・時間外労働状況)</p> <p>(3) 各施設において、施設環境の充実要望はあるのか。</p> <p>(4) 国の処遇等改善加算の実施状況は。また、町独自で処遇改善策を行う考えは。</p> <p>(5) 育児により退職を余儀なくされた離職者に復帰支援を行う考えは。</p>

質問の相手	町 長

通告順位	2	通告者	13番 石峰 実 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 町有林の収益分収契約の協議経過と今後の取り扱いについて</p> <p>町分収林に関しては「町有林の管理並びに収益分収に関する契約」に基づいて、町有林約42haにおいて川内地区が昭和37年に、甲長野地区が昭和39年に、関係11集落との間で結ばれ今日に至っている。</p> <p>契約取り交わしから既に55年から57年間の時が過ぎ、育成・管理してきた造林木も70年以上が経ち、すでに伐採期を迎えている。</p> <p>関係自治会等ではこの分収契約について知る人も少なくなりつつあり、何らかの解決策を望んでおられるのが実情だ。</p> <p>(1) 今後、町として分収林の管理並びに収益分収契約についてどのように取り扱っていく考えなのか。</p> <p>(2) また、これまで幾度となく関係者等との協議を重ねてきたと思うが、この間対処してきた経緯と契約協議の結果等について、今後どのように対応していく考えなのか。</p>		

質問の相手	町 長

通告順位	3	通告者	12番 堀池 主男 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 波佐見町地域防災計画と対策について</p> <p>今年、台風が数多く上陸し、特に千葉県や東日本に甚大な被害をもたらした。今なお、懸命な復旧作業が行われているが、本町の地域防災計画について次の事項を問う。</p> <p>(1) 防災計画に、総合防災訓練、消防訓練、水防訓練、通信訓練、避難訓練などの種類があるが、平成30年度の実績及び令和元年度の計画はどうなっているか。</p> <p>(2) 災害危険区域予防計画の中に、治山・治水対策（治山事業・河川改修事業・溜池整備事業）、地すべり対策、がけ崩れ対策、土石流対策などがあるが、その予防対策はどうなっているか。</p> <p>(3) 指定遭難所の中には、土砂災害には適さない公民館等の施設があるが、対策について協議をされたことがあるか。</p> <p>(4) 災害警戒本部を設置されたこともあるが、組織の体制は十分だったか。</p> <p>(5) 県内21市町の国土強靱化地域計画の策定状況が新聞に掲載された。本町は検討中とあったが、今後の考えは。</p> <p>2. 防災行政無線戸別受信機の整備の現状と今後の計画について</p> <p>(1) 戸別受信機の整備に係るアンケート調査を各自治会に依頼されたが、その内容と結果は。</p> <p>(2) 自治会に未加入世帯やアパート世帯への対応はどうなっているか。</p> <p>(3) 本年度から次年度にかけて導入予定と聞いているが、現状と今後の計画等はどうなっているか。</p> <p>(4) 各自治会が設置した放送設備の柱や配線など、撤去費用の補助金等はどうなるか。</p> <p>3. 波佐見有田インターチェンジ岩峠駐車場について</p> <p>(1) 広報波佐見7月号には、10月から岩峠の駐車場の利用料金が有料になると掲載された。11月号には、令和2年1月15日から有料化スタートとの掲載があったが、変更の理由は。</p> <p>(2) 「駐車場周辺の環境を整え、これまで以上に便利になる」とあるが、どのように便利になるのか。</p> <p>(3) 「安心して利用できる駐車場に変わります」とあるが、今までとどのように変わるのか。</p>		

質問の相手	町 長

通告順位	4	通告者	3番 横山 聖代 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. いのち・暮らしを守る防災対策について</p> <p>近年、大規模災害や異常気象が相次いでおり、今夏も全国で集中豪雨など自然災害が多数起きた。本町は、昭和27年6月の土石流や平成2年7月には大水害が起きたが、それからは大きな災害は起きていないため、町民の危機意識が薄いともいえる。一方、去年7月の豪雨や今年8月の豪雨により、本町にも特別警報が発令され、年々、危機意識が高まってきているのも確かである。</p> <p>(1) 平成25年施行の国土強靱化基本法で策定が可能になった「強靱化地域計画」の策定状況は。</p> <p>(2) 避難行動要支援者個別支援計画の策定状況は。</p> <p>(3) 支えあいマップの作成状況及び今後の計画は。</p> <p>(4) 防災協定の現況と今後の計画は。</p> <p>(5) 消防団女性団員は、様々な活動をされているが町民に周知されているとは言い難い。さらなる活動支援ができないか。</p> <p>2 中央小学校周辺の通学路について</p> <p>中央小学校周辺の通学路については、送迎車両が多く危険箇所が散見されるとの声を多数聞く。具体的な道路改良の予定は。</p>		

質問の相手	町 長、教育長

通告順位	5	通告者	5番 北村 清美 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 波佐見町体育協会、文化協会について 人口減少による過疎化の進行により、行事に参加できない地区がある。そこで、この現状を踏まえ、次のことを問う。</p> <p>(1) 行事日程の予定と見直しはいつ行われるのか。 (2) 各行事の問題点は。 (3) 今後の進め方は。</p> <p>2. ふるさとづくり応援寄附金について (1) 現在、申し込み件数と金額は。 (2) 昨年との比較は。 (3) 返礼品の地場産業の割合は。 (4) 返礼品として掲載されていない商品の今後の活用と対策は。 (5) 今後の基金の使い道は。</p> <p>3. 本町のスマートシティ構想について (1) 福島県会津若松市のようなICT産業（スマートシティモデル都市）を推進できないか。 (2) 工業団地の代わりに、比較的資本投下が少ない雇用やコスト節減が図れる産業の推進ができないか。</p>		

質問の相手

町 長、教育長

通告順位	6	通告者	11番 太田 一彦 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 災害対策について</p> <p>近年、地震や台風による風水害が多発している。同時に、甚大な被害を伴って、予想もつかない状況に陥ることを考えておかなければならない。特に、電気に依存する現代社会の生活は、災害時に非常に厳しい状況に追い込まれることを想定しておかなければならない。また、水道についても同様である。そこで、以下の項目について問う。</p> <p>(1) 大規模停電を想定した対策について、今後、公用車を購入するときには、災害時の蓄電池として活用できるよう、電気自動車の購入を進めるべきではないか。同時に、庁舎及び各避難所に、電気自動車からの供給を受けられるよう設備をしておくことを検討してはどうか。</p> <p>(2) 今後は、電気以外のインフラも検討し、非常時における電源のリスク分散を講じることが肝要であると思うがどうか。また、避難所の災害時の準備は、どのようになっているか。</p> <p>(3) 大規模災害における断水時の対応は、どのようになっているか。</p> <p>(4) 以上のようなことを、想定した訓練を行うべきではないか。</p> <p>2. 教育行政について</p> <p>(1) 通学路の安全対策は万全か。特に、危険個所の解消はなされているか。また、解消された後の確認は行っているのか。通学路の安全確認のための点検日を設けて、定期的な管理体制をとれないか。</p> <p>(2) 最近、携帯電話に関連しての事件を、良く見聞きするようになった。特に、SNSによる事案が急増しているようだ。本町では、どのような対応を取られているか。</p> <p>3. 公共施設について</p> <p>(1) 歴史文化交流館（仮称）にカフェの設置は計画通りか。また、どのように公募・決定されるのか。</p> <p>(2) 新庁舎建設について、歴史文化交流館と同じようにカフェ等を置く考えはないか。</p> <p>(3) 人口減少が進んでいる中、新庁舎建設の規模について基準となるものは人口なのか、職員数なのか、財政規模なのか。</p> <p>(4) 新庁舎建設において、現庁舎と大きく変わる点は何か。</p>		

質問の相手	町 長、教育長

通告順位	7	通告者	6番 脇坂 正孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 公共施設のトイレの洋式化について</p> <p>学校を含む町内公共施設のトイレの洋式化は改善が進んでいる。しかし、一部には和式のみ施設があり、利用者から改善を望む声が多い。洋式化に向け早急な取り組みが必要と思うが、特に下記施設の現状及び改善計画について問う。</p> <p>(1) 小学校・中学校</p> <p>(2) 鴻ノ巣公園グラウンド、ふれあい広場</p> <p>(3) 甲辰園グラウンド</p> <p>2. 災害対策について</p> <p>毎年、全国的に大規模な災害が発生し、人身や財産に甚大な被害をもたらしている。災害はどこでも発生するという前提のもと、対策等について問う。</p> <p>(1) 川棚川の支流についてもハザードマップが必要と思うが、作成されているのか。</p> <p>(2) 「波佐見町地域防災計画」には、防災訓練計画及び自主防災組織の整備計画が定めてあるが、その実施状況はどうか。</p> <p>3. 支え合いのまちづくりについて</p> <p>平成30年7月、「波佐見町支え合いのまちづくりフォーラム」が開催された。</p> <p>支え合いのまちづくりは、今後、地域にとって不可欠だと思うが、具体的にはどのような内容になるのか。課題と現在の進捗状況はどうか。</p>		

質問の相手	町 長、教育長

通告順位	8	通告者	9番 尾上 和孝議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 観光事業について</p> <p>本町は、観光客150万人を新たな目標として掲げられている。目標達成の為に、様々な施策が考えられるが、以下のことを質問する。</p> <p>(1) 宿泊の受け入れに関して、現在の民泊施設やホテル、今後整備される予定の宿泊所をもってしても宿泊所の数が足りない事が考えられる。出来る事から少しずつ進めるとの事だったが、車で宿泊できるオートキャンプ場の整備は考えられないか。</p> <p>(2) 先日の、波佐見町インバウンド元年セミナーで「訪日観光客はますます個人旅行化が進んでいる。今後は、どのように情報発信・アプローチしていくかが課題」との事であった。その中でも、Wi-Fi環境は必須との事であった。今後、Wi-Fi環境の拡大はどう進める計画なのか。</p> <p>また、一拠点の経費はどのくらいかかっているのか。</p> <p>(3) 近年、自然や歴史、地元の生活に触れながら歩く、韓国済州島生まれのオルレという新たな旅のスタイルが注目されている。人気がある所では、予約も取れないし、キャンセル待ちも出来ない状況である。以前にも、同僚議員からの質問でも出ていたが、町として取り組む事は出来ないか。</p> <p>前回の答弁では、「オルレの認定効果は認めるものの、申請については十分な検討が必要と思われます」との事であったが、その後検討は行ったのか。</p>		

質問の相手

町 長

通告順位	9	通告者	4番 三石 孝 議員
質 問 事 項 及 び 要 旨	<p>1. 環境行政について</p> <p>(1) ㈱ニシケン工業との環境保全協定は、履行されているか。</p> <p>2. 道路行政について</p> <p>(1) 町道の舗装整備状況については、どのように進んでいるか。</p> <p>(2) 里道の管理はどのように行っているか。</p> <p>(3) 里道の払い下げ価格は、本年9月議会の町長答弁で、改善すべき旨の回答があった。どのように改善したか。</p> <p>3. 公共交通と交通弱者対策について</p> <p>(1) 予約制乗合交通の利用状況はどうか。</p> <p>(2) 交通弱者対策はどのように考えているか。</p>		

質問の相手	町 長